



河童がでたよー！



河次郎

## B 河童の がたろうがじろう 河太郎と河次郎

柳田國男の『故郷七十年』に登場する河童(ガタロ)をモチーフにした河太郎と河次郎は、柳田國男の生家に近い辻川山公園のため池にいます。池の淵にいますのは兄の河太郎。池の中にいる弟の河次郎は、時間が来ると池の中から飛び出してくれます。



河太郎

## 全国妖怪造形コンテスト

“民俗学の父・柳田國男のふるさと”福岡町の魅力を全国に発信するための、妖怪と造形を軸とした町おこしイベントです。最優秀作品は大型FRPモデルを作成し、辻川山公園に設置します。



「天狗の森の妖翁」

## F 駒ヶ岩

市川の左岸沿いには、神馬の蹄跡伝説がある「駒ヶ岩」があります。柳田國男は『故郷七十年』の中で、幼い頃に市川の駒ヶ岩で水遊びをしていると河童にお尻を抜かれるという逸話を書き残しています。



## 銀の馬車道

「銀の馬車道」は、明治初期に生野と飾磨港の間、約4.9kmを結ぶ道としてつくられました。正式には「生野鉾山寮馬車道」と呼ばれた、当時の高速道路というべき馬車専用道路です。近年、自治体や関係団体が連携して沿線の歴史文化資源を結び観光ルートとしてPRを図っています。福岡町の沿線には、貴重な文化財である「三木家住宅」や「旧辻川郵便局」があります。



## C 三木家住宅

(県指定重要文化財)



三木家は、英賀城主の後裔と伝えられ、江戸時代には代々姫路藩の大庄屋を務めるなど、地域の中心的な役割を果たしました。建物は旧態をよく残し、壮大な屋敷構えは当時の大庄屋の生活を知る貴重な文化遺産となっています。

## E 有井堂

柳田國男は『故郷七十年』の中で、有井堂をいつまでも忘れえない思い出の場所とし、床下は村の犬が仔を産む場所だったと書いています。



## D 旧辻川郵便局

(国登録有形文化財・県景観形成重要建造物)



大正12年に三木家9代当主の拙二により建てられた擬洋風建築の歴史的建造物です。建物の1階は郵便局、2階は電信電話局として使用されていました。(保存のための解体修理工事を予定しています)

# 辻川 界 隈

家族で散策

わくわく  
ドキドキ



## 辻川の由来

辻川という地名を久しく疑問に思っていたのであるが、辻川を東西に貫いて前之庄を通り佐用の方へと延びる古い街道に、十字形に交叉して、古く開けた港の飾磨津から北上して生野の方へ達する道のあることが、その由来であると気づくようになった。  
(柳田國男『故郷七十年』より)

ボランティアガイドの方に案内していただきました。

## 辻川界隈観光 ボランティアガイド

地元に精通したガイドが、辻川地区を案内します。ちょっとしたエピソードを聞きながら、ガイドといっしょに辻川の歴史を巡ってみませんか？

お申し込み・相談先／福岡町観光協会(福岡町役場地域振興課内)  
☎0790-22-0560(内線391)



辻川界隈観光  
ボランティアガイド  
馬淵孝彦さん

## A もちむぎのやかた

特産品のもち麦を使った料理が楽しめるレストランや売店のほかに、製麺工場もあります。  
☎ 平 日 / 9時～17時(レストラン11時～営業) ☎0120-03-0569  
土日祝 / 9時～19時(レストラン11時～営業)  
☎ 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日が定休日となります)



人気急上昇の「もちむぎソフト」。食物繊維たっぷりのもち麦を使った香ばしくあつさりとした素朴な味わいです。







郷土の歌人  
**岸上大作**  
昭和14年～昭和35年

60年安保闘争に参加する学生としての高揚とためらいを詠んだ「意志表示」が短歌研究新人賞に推薦され、若き天才歌人として注目を浴びましたが、21歳で帰らぬ人となりました。  
写真提供／姫路文学館

## 学問成就の道

柳田國男の兄弟の氏神である「鈴ノ森神社」と学問の神様菅原道真を祀る「北野天満神社」を結ぶ道。合格祈願や学問成就祈願に2つの神社に参拝すると、願いが叶うといわれています。

ここからスタートだよ



### ヤマモモ

辻川地区の鈴ノ森神社境内、拝殿にむかって右側にヤマモモの巨木が枝を広げています。このヤマモモは町内最大のもので、町の天然記念物であると同時に保存樹の指定も受けています。

J

### 鈴ノ森神社



柳田國男が子どもの頃によく遊びに来ていた場所の1つです。「播磨鑑」に神々が集まったとあり、声学、安産の神々が祀られています。合格祈願には絵馬を奉納すると良いといわれています。



## K 望郷の丘

辻川山(標高126.8m)の山頂にある展望場です。天才歌人といわれながら早世した、福岡町出身の岸上大作(昭和14～35年)を顕彰するため整備。展望スペースからは、岸上が生まれ育った井ノ口地区が一望できます。

K

### 望郷の丘



## 辻川山(民俗の森)

### 見晴広場

### G 神崎郡 歴史民俗資料館

### H 柳田國男・松岡家記念館

### I 短歌の森

### J 鈴ノ森神社

うぶすなの森のやまもも高麗犬は  
こまいね 懐しきかなもの言はねども 柳田國男  
うぶすなの杜のやまももふる里は  
はかなきこともこひしかりけり 井上通泰



短歌の森

### 第1グラウンド

L

### 北野天満神社



学問の神様、菅原道真を祀る北野地区の氏神。春には梅の花が境内を彩ります。なでると頭がよくなるといわれる「なで牛」の像もあります。

頭をなでると  
賢くなるかなあー！

G

### 神崎郡 歴史民俗資料館

(県指定重要文化財)

明治19年に神東・神西郡役所(後に神崎郡役所と改称)として建てられました。昭和57年に移築・復元し、資料館として開館しました。ギリシャ建築様式を取り入れた二段式の玄関や手作りの階段手すり、元郡長室の暖炉など、文化財的にもすぐれた明治建築です。福岡を中心とした神崎郡の歴史を時代別・テーマ別に展示しているほか、地域で使われていた生活用具・農具などの民俗資料も展示しています。

H

### 柳田國男・松岡家 記念館

生家に隣接する記念館は、柳田國男誕生100年を記念して建てられました。松岡五兄弟の著書や作品、原稿、写真などが多数収蔵・展示されています。



## 柳田國男検定

柳田國男の功績を顕彰するとともに、民俗学に理解を深めてもらうために、平成26年から始まった検定です。初級編に合格すると、中級・上級編に挑戦できます。



I

### 柳田國男生家

(県指定重要文化財・  
県景観形成重要建造物)

眼下に町並みを見下ろす緑豊かな山腹にたたずんでいます。3畳が2間、4畳が2間の「田の字型」で日本民家の原初形態です。國男は「私の家は日本一小さい家だ」「この家の小ささという運命から、私の民俗学への志も源を発したといっよい」と記しています。



### 松岡五兄弟 石像

それぞれの分野で功績を残した英才兄弟



### 松岡五兄弟石像 フロッタージュラリー

学問成就の道には五兄弟の石像が設置されています。台石に刻まれた桜マークに紙をあて鉛筆でこすると文字が現れ、5つ揃うと「ある言葉」が浮かび上がります。また、台石には縁起の良いものが描かれています。(専用用紙は柳田國男・松岡家記念館にあります)

